調査委員会における調査研究報告書

教科名 (数学)

No.1

接着性 接続性 発音性 接続性 発音性 2 発音性 2 発音性 2 を発生性 2 2 2 2 2 2 2 2 2		Т		N0.1
特別 (東京書籍)	調本研究の組占		所 見	
	明11171171171	発行者(東京書籍) 発行者番号(2)	発行者 (大日本図書) 発行者番号 (4)	発行者(学校図書) 発行者番号(11)
1 内 名		①章ごとに2~3個のデジタルコンテンツが用意されていて、生徒一人	①図形、データの活用を中心にデジタルコンテンツが用意されていて、	①関数、図形、データの活用を中心にデジタルコンテンツが用意され
内 24		一人が図形を動かし、観察することができるようになっている。(QR	生徒一人一人が図形を動かし、観察することができるようになって	ていて、様々な統計資料を見ることができるようになっている。(QR
		コード)	いる。(QR コード)	コード)
8 本記・表現 1 本記・表現 1 本記・本の		②応用的な内容である「章の問題 B」では、多くの問題で考え方と解説	②応用的な内容である「力をのばそう」には、いくつかの問題で解説	②「確かめよう」「章のまとめの問題」では、いくつかの問題で解説が
### 2.	1 内容	が掲載されている。	が掲載されている。	掲載されている。
本記・表現 日本の存立を強悪と痛いが知れ、情報のヒストクラムの密め 公童と学年の四分を範囲と痛いが知え、情報のヒストクラムと縮		③各章に、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入	③各章に 1 箇所、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を	③各章に 1 箇所、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を
しろうさを現他一部の片間地上を行われた。		れている。また、各節の導入に作業的な活動を取り入れている。	取り入れている。	取り入れている。
4 使用上の便に 砂(国との際生ー輸の別急(単・次分析)という強化である。 う強れである。 う強れである。 所見という強化である。とストグラムとは関連していない。 2 構成・分量 (国際末に「基本の問題」を乗れに運の問題」を素の問題のと素的的に関うしまる。 (国際本に「たいかよう」、業業に「軍をあり返ろう」、発展としている。 (国際大の社会のよう」、実業に「運のよどのの場面が、できる問題が認定されている。 (国際大の社会のよう」、会議的に対している。 (国家大の社会のよう」、会議の出来のいるがり」の1節に記載されている。 会社でいる。会議内襲力解は1 年 「中のませんの数」の4 管に記載されている。ページ数は1 年 「東の世界のひろがり」の1節に記載されている。ページ数は4ページである。 会議内襲力解は1 年 「中の数 負の数」の4 管に記載されている。ページ数は1 年 「データを比較している。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページ数は3 年 「データの力制」に記載されている。ページを3 年 「データの力制」に記載されている。ページを3 年 「データの力制」に記載されている。ページを3 年 「データの力制」に記載されている。ページを3 年 「データの力制」をデータの力」を2 手 「上のしている」、ページのよい 「大きな」をできる。ページを3 年 「データの力制」に記載されている。ページを3 年 「データの力制」で記載されている。ページを3 年 「データの力制」で記載されている。ページを3 年 「データの力制」できる。 (会数料書のページ数は3 日 「手の力」を3 年 「データの力制」できる。ページ第 2 年 「シータの力」を3 年 日 「財産の力」と3 年 日 「財産の力」を3 年 日 「財産の力」と3 年 日 「財産の力」を3 年 日 「財産の力」と3 年 日 「財産の力」と3 年 日 「財産の力」と3 年 日 「財産の力」を3 年 日 「財産の力」と3 年 1 年 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 日 1		④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「複数のヒストグラムの比較の	④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「四分位範囲と箱ひげ図の理解	④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「箱ひげ図の紹介→四分位範囲
 ①節末に「塞水の間頭」を素に「竜の問題」と系統的に重列されている。 常和間部は水本、応用、活用とレベル分けされている。 ではそう」と系統的に配列されている。 常和間部は水本、応用、活用とレベル分けされている。 かいまう」と系統的に配列されている。 常知とからいます。 ないさる。 常和間部は水本、応用、活用とレベル分けされている。 ないまな。 ではまないでは、 ではまないである。 の適い行図は7章 「データを比較して判断しよう」に記載されている。 ページをは24ページである。 の適い行図は7章 「データを比較して判断しよう」に記載されている。 ページをは34ページである。 の適い行図は7章 「データを比較して判断しよう」に記載されている。 ページをは34ページである。 の適い行図は7章 「データを比較して判断しよう」に記載されている。 ページをは34ページである。 の適い行図は7章 「データを比較して判断しよう」に記載されている。 ページをは34ページである。 の適い行図は7章 「データの分析とある。 の適い行図は7章 「データの介析」に記載されている。 ページを343ページである。 の適い行図は7章 「データの介析」に記載されている。 の適い行図は7章 「データの介析と243ページである。 の前にデード 「データの介析と14月」において、「たまたグラス・住地グラフ」「度速力はある。 の第1 学年 「比例と反比例」の反比例のグラフによって、 このは1 がのクラフによっている。 第1 学年 「比例と反比例」の反比例のグラフによって、 このがクラフについて、 この第1 学年 「比例と反比例」の反比例のグラフによって、 このがクラフになっている。 第1 学年 「上側と反比例」の反比例のグラフによって、 このがクラフになっている。 第1 学年 「上側のグラフによっている。 このがクラフになっている。 のがクラフになっている。 のがクラフになっている。 のがクラフになっている。 のがクラフになっている。 のがクラフになっている。 のが表になっている。 のが表になっている。 のが表にかる。 のまないを3 「とはない」 の表記がある。 のまないを3 「とはない」 の表記がある。 のまないを3 「は44ページ できな」 に対しを2 学 「上側と反比例」の反比がある。 のまないを3 「は44ページ できな」 に対しに対した統則で得がの利用できるようになっている。 第1 学年 「第3 学年では 値形である。 この答案にを3 たっている。 第1 学年 「第43 学年でも3 章目である。 このがにである。 のきないを3 「は44ページ できな」 とからえる。 のきないを3 「は44ページ できな」 とからよる。 のきないを4 「は44ページ できない」 とがないと3 「は44ページ できない」 とがないと4 「は44ページ できない」 とがないと5 「は44ページ できない」 とがない。 できないをないと5 「は44ページ できない」 とがないと5 「は44ページ できないと5 「は44ページ できない」 とがないと5 「は44ページ できない」 とがないと5 「は44ページ できない」 とがないと5 「は44ページ できない」 とが		しづらさを実感→四分位範囲と箱ひげ図の理解→ヒストグラムと箱	→ヒストグラムと箱ひげ図との関連→箱ひげ図を用いた分析」とい	と箱ひげ図の理解→箱ひげ図の読みとり方→箱ひげ図を用いた分
上記別されている。 全来問題は基本、応用、活用とレベル分けされている。 である。 では、		ひげ図との関連→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。	う流れである。	析」という流れである。ヒストグラムとは関連していない。
できる問題が設定されている。		①節末に「基本の問題」、章末に「章の問題 A・章の問題 B」と系統的	①節末に「たしかめよう」、章末に「章をふり返ろう」、発展として「力	①節末に「確かめよう」、章末に「章のまとめの問題」と系統的に配列
2 構成・分量		に配列されている。章末問題は基本、応用、活用とレベル分けされ	をのばそう」と系統的に配列されている。章末に学びのふり返りが	されている。章末問題は基本、応用、活用とレベル分けされている。
2 構成・分量		ている。	できる問題が設定されている。	
3箱() 対図は 7 章 「データを比較して判断しよう」に記載されている。 ページ数は 8 ページである。 (3 衛が対図は 6 章 「データの比較と箱のげ図」に記載されている。 ページ数は 8 ページである。 (3 衛が対図は 7 章 「データの比較と箱のけ図」に記載されている。 ページ数は 8 ページである。 (3 一変数は 9 で年 23 ページである。 (3 一変数は 9 で年 23 ページである。 (3 でき年 12 成りでするたい 2 大き年 23 ページである。 (3 でき年 12 成りを乗びたしている。 (4 できを乗びたしている。 (4 できを乗びたしている。 (4 できを乗びた) などが、 12 成りを乗びたしている。 (4 できを乗びた) などが、 12 成りを乗びたしている。 (4 できん 12 成りを乗びた) などが、 12 成りを乗びたしている。 (4 できた 12 成りを乗びた) などが、 12 成りを乗びたり、 12 成りを乗びたり、 12 成りを乗びたり、 12 成りを乗びた 12 成りを乗びたり、 12 がよりを乗びたり、 12 成りを乗びたり、 12 がよりを乗びたり、 12 がよりを使むためまりを使むためまりを使むためまりを使むためまり、 12 がよりを使むためまりを使むためまりを使むためまりを使むためまります。 12 がよりを使むためまりを使むためまりを使むためまりを使むためまりを使むためまりを使むためます。 (4 できながたりをする) (4 できながたりを使むためなどりを使むためなどりを使むためなどりを使むためなどが		②素因数分解は 0 章「算数から数学へ」の中で記載されている。ペー	②素因数分解は1章「数の世界のひろがり」の1節に記載されている。	②素因数分解は1章「正の数・負の数」の4節に記載されている。ペ
- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 構成・分量	ジ数は2ページである。	ページ数は4ページである。	ージ数は4ページである。
● 機科書のページ数は第1学年231ページ、第2学年184ページ、第3 学年252ページ、第2学年188ページ、第2学年28ページ、第2学年201ページ、第3学年234ページである。 ②本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年248ページ、第2学年・第3学年は常体で表記されている。本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章は、文節や単語で改行されている。。②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフた示している。 ②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフは示している。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「産数折は線、「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の支配がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の支配がある。 ③表紙で奏引の項目は、日本語表記のみである。 ①教科書の最初にある @コード又は10만からインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年年第3学年でも項目である。 ②参科書の最初にある @コード又は10만からインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年年第3学年でも項目である。 ②参音の前によりかえりのページはない。 ②各章の前によりかえりのページはない。 ②各章の前によりかえりのページはない。 ②各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが 取り上げられている。 ③巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻葉に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻葉に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻葉に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻葉に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻葉に15番面体の機型がある。		③箱ひげ図は7章「データを比較して判断しよう」に記載されている。	③箱ひげ図は6章「データの比較と箱ひげ図」に記載されている。ペ	③箱ひげ図は7章「データの分布」に記載されている。ページ数は11
3 表記・表現 学年214 ページである。 学年236 ページである。 学年233 ページである。 3 表記・表現 ①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年に発記されている。 ①本文の文章は、文節や単語で改行されている。 ②本文の文章は、文節や単語で改行されている。 ②本文の文章は、文節や単語で改行されている。 ②本文の文章は、文節や単語で改行されている。 ①本文の文章は、文節や単語で改行されていない、本文の文章の文末は、第1学年に第3学年は文本体、第2学年・第3学年は、本体で表記されている。 ②本学年~第3学年まで、常体で表記されている。 ②本学年~第3学年に入いたい。 ②本1学年「肝例と反比例、の反比例のグラフについて、開産いやすい例のグラフについて、開産いやすい例のグラフは示されていない。 第1学年「データの分析と活用」において、「とストグラム・柱状グラフに大の表記がある。 ②第1学年「データの分析と活用」において、「とストグラム・柱状グラフに変表がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の平4所図上だがい、「とストグラム・柱状グラフに変表がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の平4所図上だがい、「とストグラム・柱状グラフに変表がある。 ③第1学年「三角形と四角形」において、「とストグラム・柱状グラフに変表がある。 ③第1学年「三角形と四角形」「中央値」最頻値、モード「範囲・レンジ」の表記がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の表記がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の平4回辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の表記がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の本2回用の変出ととのたる。 ④第2学年「三角形と四角形」「中央値」最頻値、モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ●第2学年「三角形と四角形」で対したが、「対型」「対角」の表記がある。 ●第2学年「三角形と四角形」の表記がある。 ●第2学年「三角形と四角形」「を対したが、対型」に表現を対したが、対型」に表現を対したが、対力の表記がある。 ●第2学年「三角形と四角形」を対したが、対力の表記を対したが、対力の表記を対したが、対力の表記を対したが、対力の表記を対したが、対力の表記を対したが、対力の表記を対したが、対力の表記を対力のページがある。 ●第2学年の前にありかえりのページがある。 ●第2年の第2を本来に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムとが、取り上げられている。 ②本によっては、前へぶによっては、前へぶによっている。第1年年へ第3学年でも項目である。 ●第2年の第2を本との書とのがある。 ②本との本とののページがある。 ②本との本とのページがある。 ②本によっては、前へが定したは、対力のページがある。 ②本との権にとようなどが、表記を決しる。 ②本との本とのは、とのなどが、表記を決しまれている。 ②本とので述とのがある。 ②本とので述とのがある。 ②本とので述とのがある。 ②本とので述とのは表記を述るとので述とのいる。 <td></td> <td>ページ数は8ページである。</td> <td>ージ数は8ページである。</td> <td>ページである。</td>		ページ数は8ページである。	ージ数は8ページである。	ページである。
①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は 第1学年~第3学年まで、常体で表記されている。 ②第1学年「伊心と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数析は線」「中央値」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数析は線」「中央値」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ⑤表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 ①教科書の最初にある。のコード又はULからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの上は他からインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目目の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年で多3学年でも項目と関連した補助資料が利用できるようになっている。第2年「三角形と四角形」の表記がある。 ⑤表紙に英語表記がある。 ②参索に大きないでいる。第1学年の分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数析れ終・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」・モード」ラフ」「度数析れ終・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ⑤表紙で索引の項目は、日本語表記のみである。 ①教科書の最初にある。コード又はULからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目目の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年の第3学年では項目である。 ②参索に大きむかえりのページはない。 ②各章の前によりかえりのページはない。 ②各章の前によりかえりのページはない。 ②各章の前によりかえりのページはない。 ⑤巻素に正多面体や内角能の検型がある。 ②参索は正子多面体や内角能の検型がある。 ⑤巻末に正多面体や内角能の検型がある。 ⑤巻末に正多面体や内角能の検型がある。		④教科書のページ数は第1学年231ページ、第2学年184ページ、第3	④教科書のページ数は第1学年252ページ、第2学年188ページ、第3	④教科書のページ数は第1学年248ページ、第2学年201ページ、第3
### 24 ### 25		学年 214 ページである。	学年 226 ページである。	学年 233 ページである。
2第1 学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。				
い例のグラフを示している。 い例のグラフを示している。 い例のグラフは示されていない。 い例のグラフは示されていない。 3第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線」「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 3第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 3表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 3表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 3表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 3表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 3表紙で素引の項目は、日本語表記のみである。 3表紙に実語表記「Mathematics World」がある。 3表紙に実語表記「Mathematics World」がある。 3表紙に実語表記がある。 3表紙に表語表記がある。 3表紙に表語表記が表記が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で40項目である。 3本に表記が表記が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で40項目である。 3本に本の前にふりかえりのページはない。 3本に本の前にふりかえりのページはない。 3本に本の前にふりかえりのページはない。 3本に本の前によりかえののページはない。 3本にも間の学習内容のまとめがある。 3本にも間の学習内容のまとめがある。 3本にも間の学習内容のまとめがある。 3本に正有面を関型がある。 3本に正有面を関型がある。 3本に正有面を関型がある。 3本に正有面の模型がある。 3本に正有面の模型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。 3本に正面の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。 3本に正面の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。 3本に正面の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の検型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面の機型がある。 3本に正面のは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の				
3 表記・表現 ②第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グ ラフ」「度数折れ線」「中央値・メジアン」「最鯛値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ③第1学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ③素紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 ①教科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年〜第3学年で52箇所である。 ②各章の前にふりかえりのページはない。 ②各章の前にふりかえりのページはない。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ①巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻素に正多面体や四角錐の模型がある。 ④巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻素に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻素に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻素に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻素に正多面体や四角錐の模型がある。 ③巻素に正多面体や四角錐の模型がある。 ②第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「良数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最鯛値」「最鯛値」「範囲・レンジ」の表記がある。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「良数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最鯛値」「範囲・レンジ」の表記がある。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最鯛値」・モード」「一名解し、レンジ」の表記がある。 ③素はに英語表記がある。 ③素はに英語表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ②を本に本語の表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ③表紙に英語表記がある。 ②を表に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ④巻末に正全面体の模型がある。				
3 茶記・表現				
④第 2 学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ④第 2 学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ④第 2 学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 「対角」の表記がある。 「対角」の表記がある。 「対角」の表記がある。 「対角」の表記がある。 「対角」の表記がある。 「支統に英語表記「Mathematics World」がある。 「大角」の表記がある。 「大名」に英統に英語表記がある。 「大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名。 「大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名。 「大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名。 「大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に大名」に	3 表記・表現			
4 使用上の便宜 「対角」の表記がある。 ⑤表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 「対角」の表記がある。 ⑤表紙に英語表記「Mathematics World」がある。 「対角」の表記がある。 ⑥表紙に英語表記「Mathematics World」がある。 「対角」の表記がある。 ⑥表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。 4 使用上の便宜 ①教科書の最初にある QR コード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で52箇所である。 る。 ①教科書の最初にある QR コードからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で41箇所である。 る。 でおうに接続でき、その項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で41箇所である。 る。 でいる。第1学年~第3学年で41箇所である。 ②各章の前にふりかえりのページはない。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ⑤巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④学習内容のまとめのページはない。 ⑤巻末に正負の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。		レンジ」の表記がある。	「範囲・レンジ」の表記がある。	レンジ」の表記がある。
(⑤表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。 ⑤表紙に英語表記「Mathematics World」がある。 ⑤表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。 (①教科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年〜第3学年で52箇所である。 (①教科書の最初にあるQRコード文はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっか利用できるようになっている。第1学年〜第3学年で45項目である。 (①ページ内にあるQRコードからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになったいる。第1学年〜第3学年で45項目である。 (と接続でき、その項目に関連した補助資料が利用できるようになったいる。第1学年〜第3学年で41箇所である。 でいる。第1学年〜第3学年で41箇所である。 でいる。第1学年〜第3学年で41箇所である。 (②章によっては、前ページにふりかえりのページがある。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 (③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 (④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 (④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 (④学習内容のまとめのページはない。 (⑤巻末に正負の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。				
①教科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で52箇所である。 ②各章の前にふりかえりのページはない。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ①参科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で41箇所である。 ②各章の前にふりかえりのページはない。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ③巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ①参科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料がおりに接続でき、その項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で41箇所である。 ②章によっては、前ページにふりかえりのページがある。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ④学習内容のまとめのページはない。 ⑤巻末に正負の数を用いたカードグームや四角錐の模型がある。				
### 1				
### A #### A #### A #### A ##### A ######				
4 使用上の便宜	4 使用上の便宜			
4 使用上の使用 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが 取り上げられている。 取り上げられている。 取り上げられている。 取り上げられている。 取り上げられている。 ②巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ②巻末に1年間の学習内容のまとめがある。 ②巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ⑤巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ⑤巻末に正多面体の模型がある。 ⑤巻末に正多面体の模型がある。 ⑤巻末に正多面体の模型がある。 ⑤巻末に正角の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。				
図合草や香木に、字のを探める課題問題や数字に関するコプムなどが 図合草や香木に、字のを探める課題問題や数字に関するコプムなどが 図合草や香木に、字のを探める課題問題や数字に関するコプム、レホ			②各章の前にふりかえりのページはない。	②章によっては、前ページにふりかえりのページがある。
①巻末に1年間の学習内容のまとめがある。				
⑤巻末に正多面体や四角錐の模型がある。 ⑤巻末に正多面体の模型がある。 ⑤巻末に正角の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。		• • • • • • •		

調査委員会における調査研究報告書

教科名 (数学)

 $N_0 2$

			No.2
調査研究の観点		所見	
明道ツガツ郷点	発行者(教育出版) 発行者番号(17)	発行者(新興出版社啓林館) 発行者番号(61)	発行者(数研出版) 発行者番号(104)
1 内容	 ①データの分析の分野を中心にいくつかのデジタルコンテンツが用意されていて、ヒストグラムを操作したり、統計資料を確認したりすることができるようになっている。(QR コード) ②「基本の問題」「章の問題」では、どちらも解答が掲載されている。「章の問題」の大問ごとに学習課題が記載されている。 ③各章の導入と章末の2箇所に、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。 ④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「ヒストグラムの復習→四分位範囲の理解→箱ひげ図の理解→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。箱ひげ図とヒストグラムとの関連は4行分掲載されている。 	て、数多くの視覚的な資料を通して理解を深めることができるようになっている。(QR コード) ②「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」のページでは、QR コードにアクセスすると、全ての問題の解説がある。 ③各節のはじめに、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。 ④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「箱ひげ図の紹介→四分位範囲	視覚的な資料を通して理解を深めることができるようになっている。(QR コード) ②「確認問題」「問題 A」「問題 B」では、どれも答えのみが掲載されている。さらに発展的な練習ができるように「チャレンジ編」がある。 ③教師と生徒の対話場面を充実させており、学びのプロセスに焦点があたるように配慮されている。また、学んだ内容を総合的に活用して解決する課題をまとめた別冊『探究ノート』がある。 ④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「四分位範囲の理解→箱ひげ図
2 構成・分量	 ①節末に「基本の問題」、章末に「章の問題」と系統的に配列されている。章末に章のまとめが記載されており、振り返りがしやすいよう工夫してある。 ②素因数分解は1章「整数の性質」に記載されている。ページ数は5ページである。 ③箱ひげ図は7章「データの分析」に記載されている。ページ数は15ページである。 ④教科書のページ数は第1学年251ページ、第2学年205ページ、第3学年295ページである。 	びを身につけよう」と系統的に配列されている。章末の問題量が豊富である。巻末に振り返りのページがある。 ②素因数分解は1章「正の数・負の数」の4節に記載されている。ページ数は2ページである。 ③箱ひげ図は7章「箱ひげ図とデータの活用」に記載されている。ページ数は9ページである。	ている。章末問題は基本、応用とレベル分けされており、次の章の 学習に繋がる問題も設定されている。 ②素因数分解は1章「正の数・負の数」の4節に記載されている。ページ数は2ページである。
3 表記・表現	 ①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年〜第3学年まで、常体で表記されている。 ②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ⑤表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。 	第1学年〜第3学年まで、敬体で表記されている。 ②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフは示されていない。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」「範囲」の表記がある。	は、第1学年〜第3学年まで、常体で表記されている。 ②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」「範囲」の表記がある。
4 使用上の便宜	①教科書の巻頭にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で29項目である。 ②各章の前ページにふりかえりのページがある。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④各章末にその章の内容のまとめがある。 ⑤巻末にグラフ用紙や正多面体の模型がある。 ⑥別冊ノートは付いていない。	①ページ内にあるQRコードからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、その項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で164箇所である。 ②各章の前にふりかえりのページはない。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。 ④学習内容のまとめのページはない。 ⑤模型などの教材はない。 ⑥別冊ノートは付いていない。	デジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で161箇所である。 ②各章の前ページにふりかえりのページがある。

調査委員会における調査研究報告書

教科名 (数学)

No.3

			No.
調査研究の観点		所 見	
₩₩ .日. ₩I ノロ ∨ ン EMU/U/	発行者(日本文教出版) 発行者番号(116)	発行者 (発行者番号 ()	発行者() 発行者番号()
1 内容	 ①関数、図形、データの活用を中心にデジタルコンテンツが用意されていて、数多くの視覚的な資料を通して理解を深めることができるようになっている。(QR コード) ②「基本の問題」「章の問題」「とりくんでみよう」のいずれも解答が掲載されている。いくつかの問題で解説が掲載されている。 ③各学年の3~4箇所に、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。 ④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「四分位範囲と箱ひげ図の理解→箱ひげ図を用いた分析→ヒストグラムと箱ひげ図との関連」という流れである。 		
2 構成・分量	①節末に「基本の問題」、章末に「章の問題」、発展として「とりくんでみよう」と系統的に配列されている。章末問題は基本、応用とレベル分けされており、次の章の学習に繋がる問題も設定されている。②素因数分解は1章「正の数と負の数」の3節に記載されている。ページ数は2ページである。 ③箱ひげ図は6章「データの分布と確率」に記載されている。ページ数は11ページである。 ④教科書のページ数は第1学年244ページ、第2学年182ページ、第3学年204ページである。		
3 表記・表現	①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年〜第3学年まで、敬体で表記されている。 ②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフは示されていない。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ⑤表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。		
4 使用上の便宜	①教科書の最初にある QR コード又は URL からインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年~第3学年で85箇所である。		